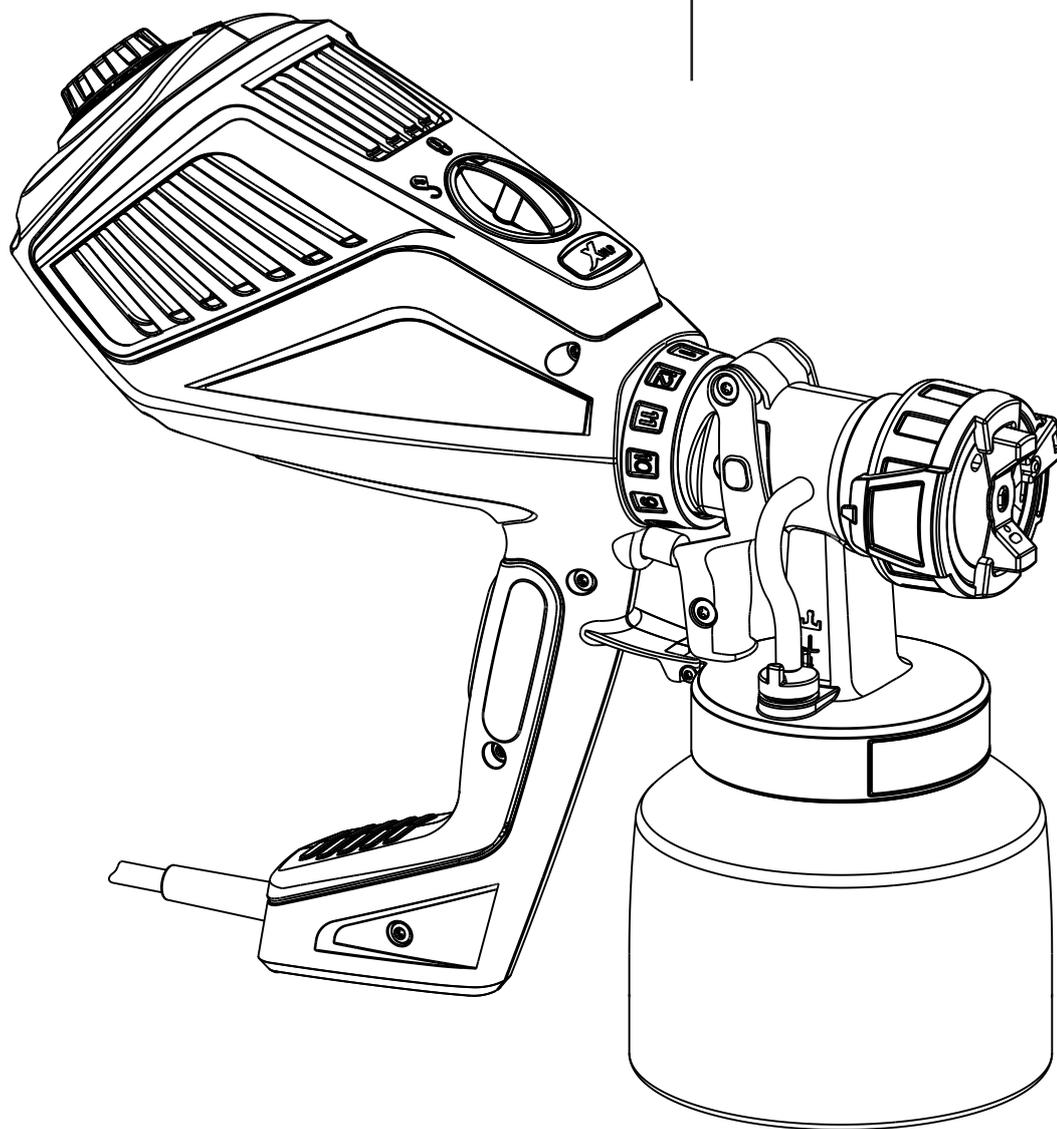


# WAGNER

操作説明書

## フレキシオ PRO (FinishControl 3500)



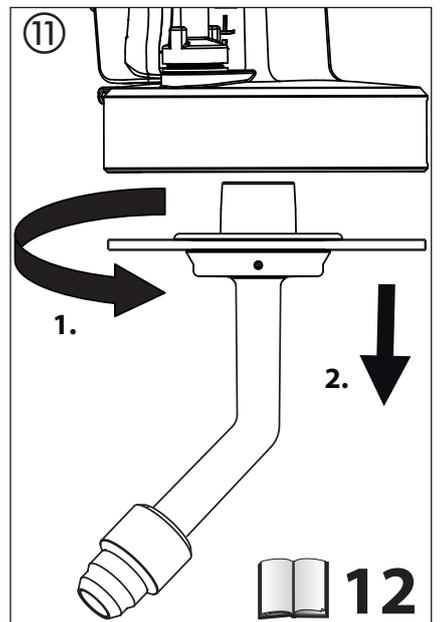
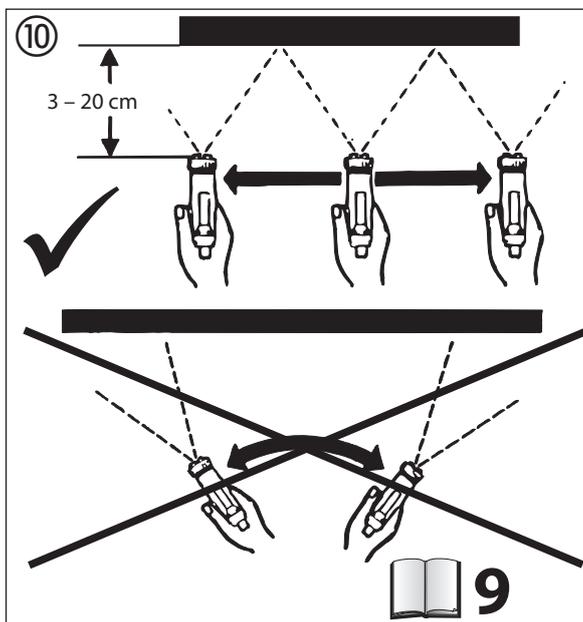
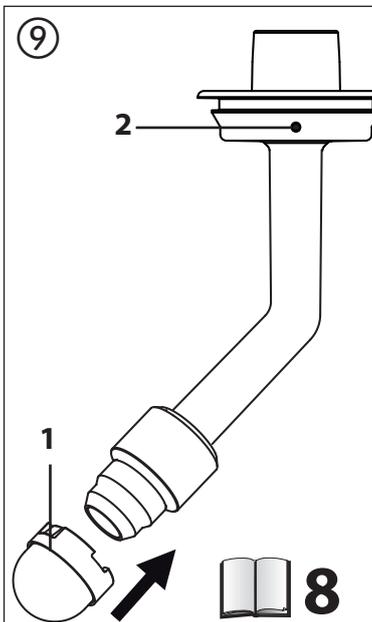
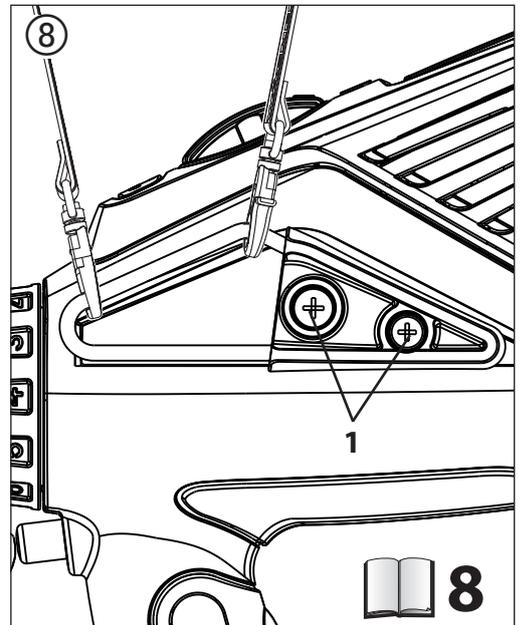
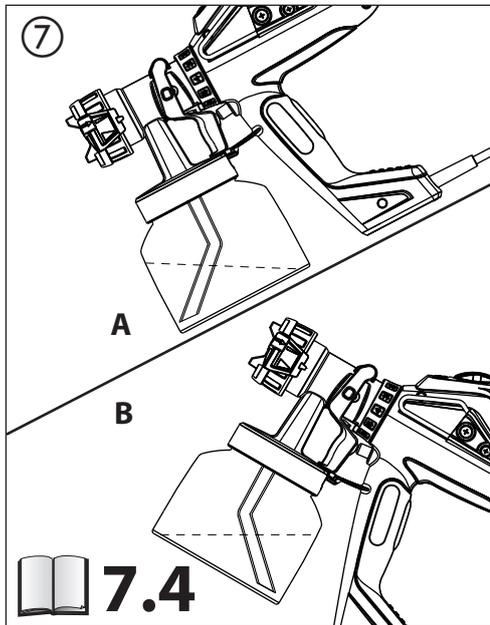
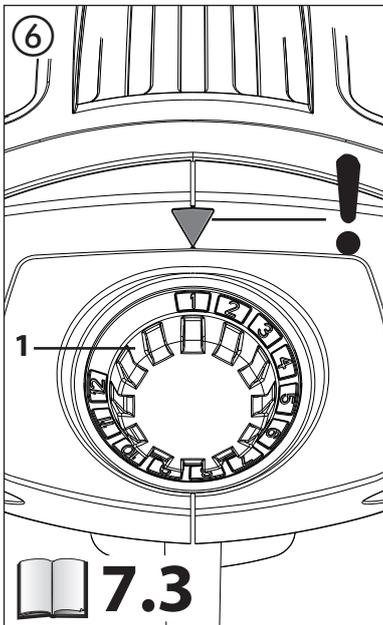
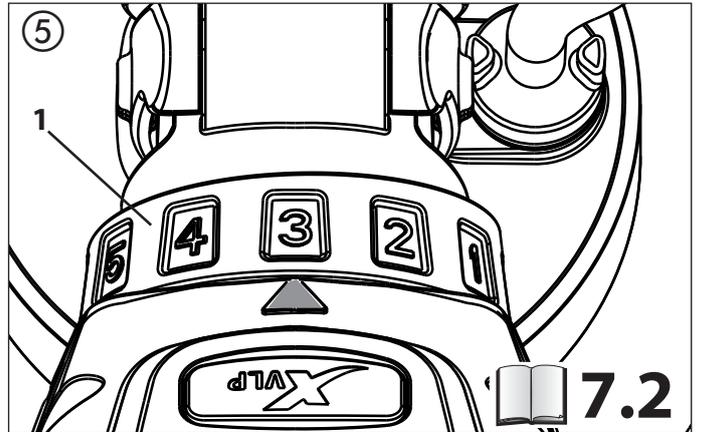
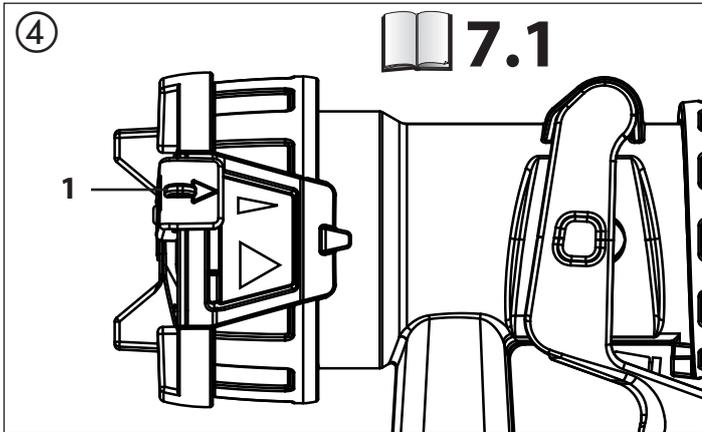
2359085  
07 / 2016

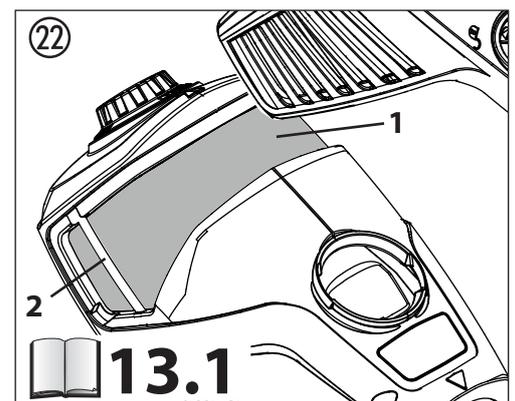
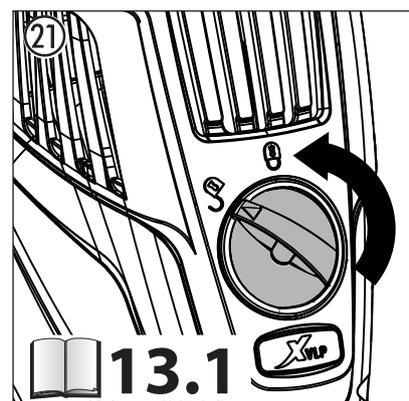
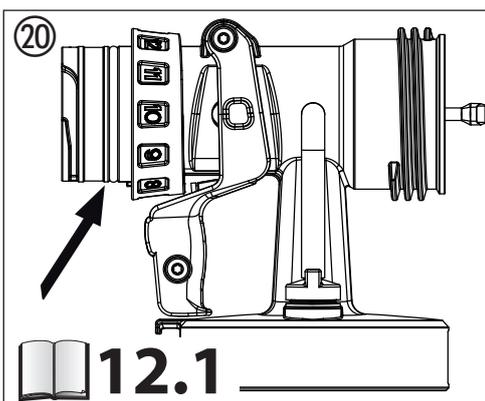
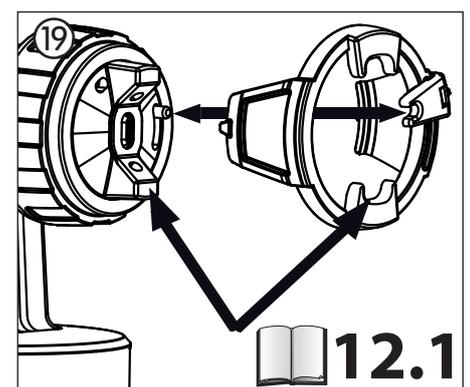
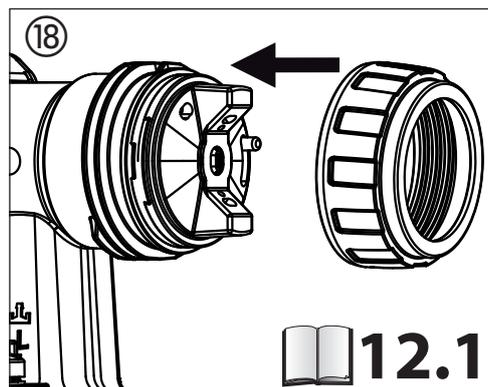
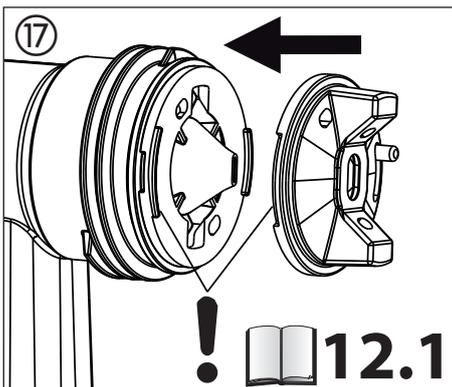
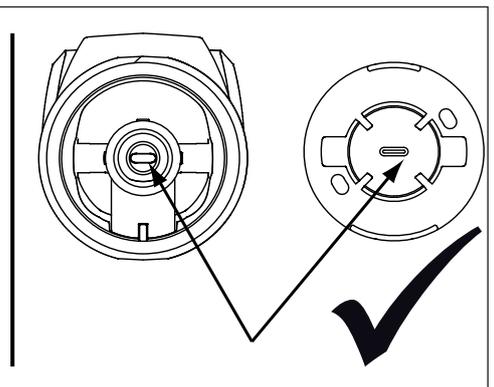
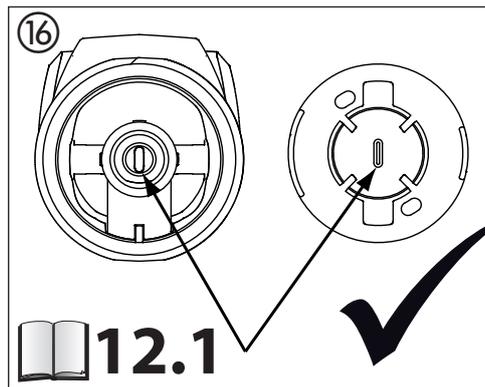
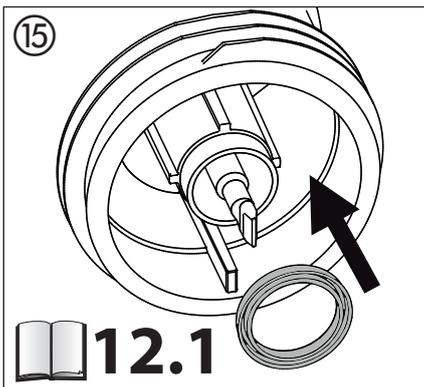
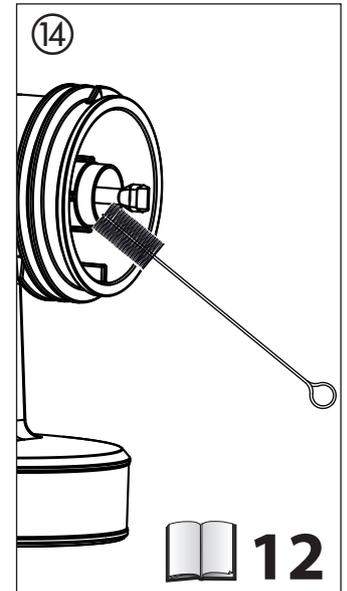
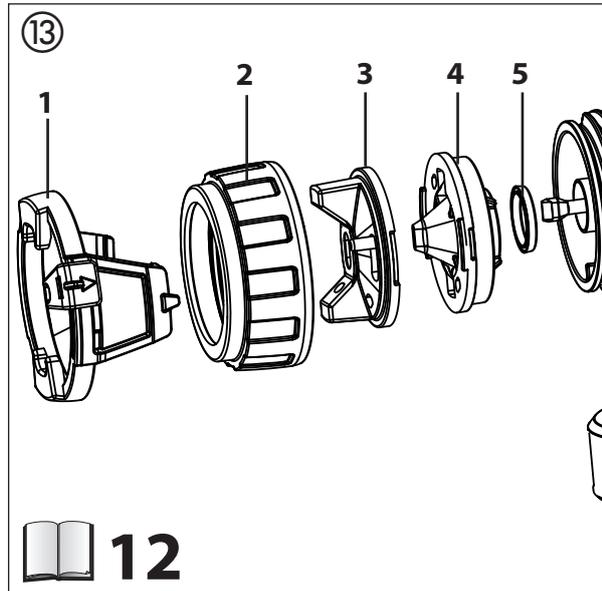
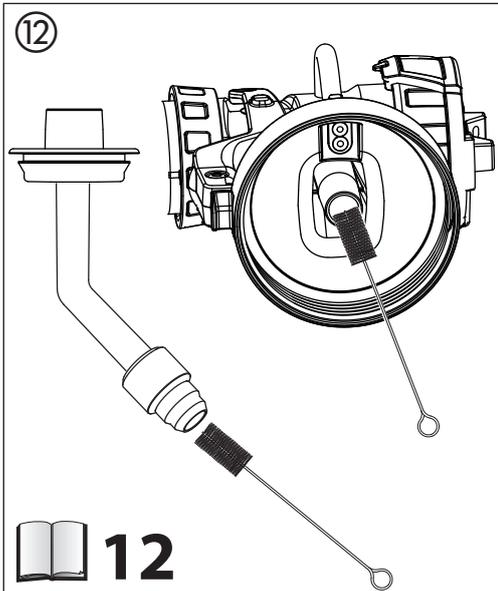




# FinishControl 3500

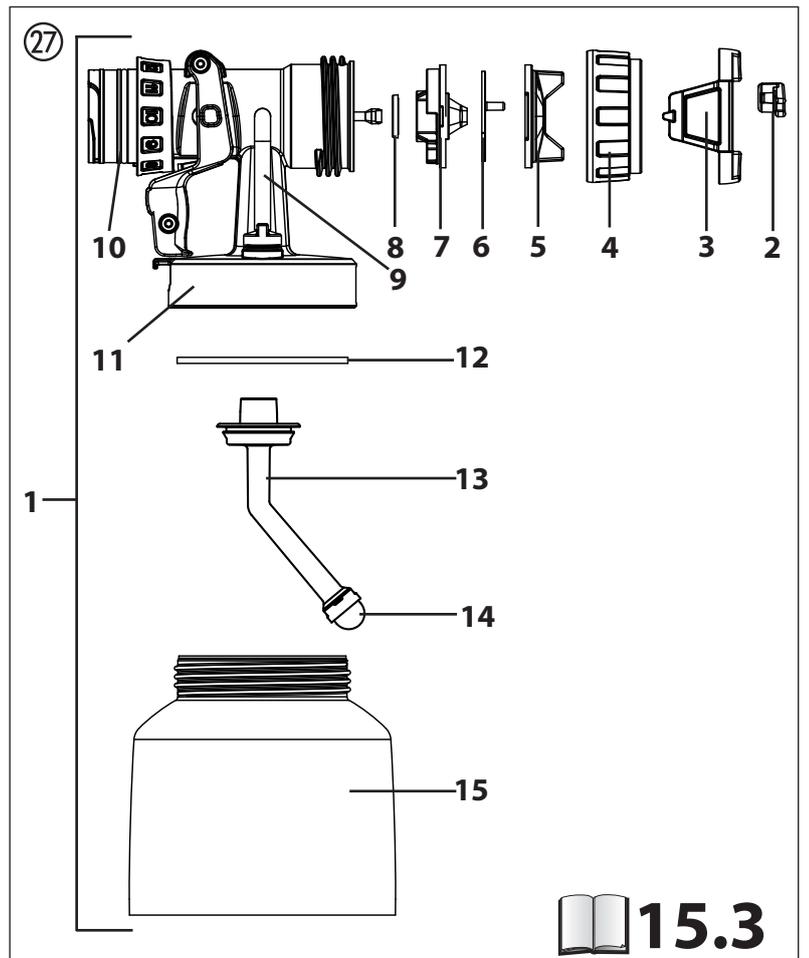
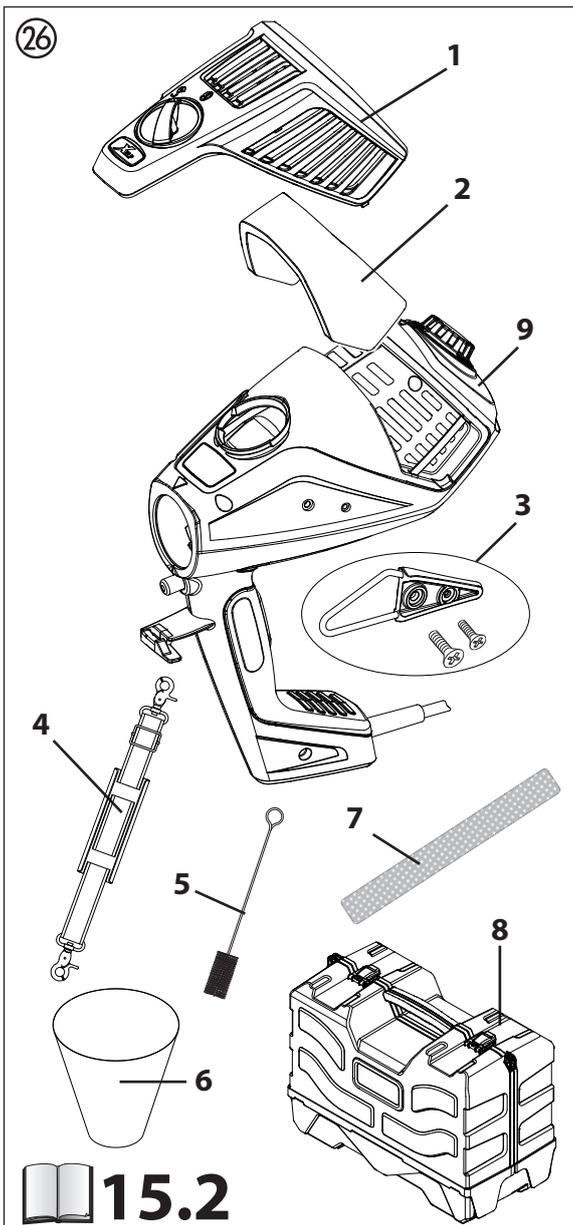
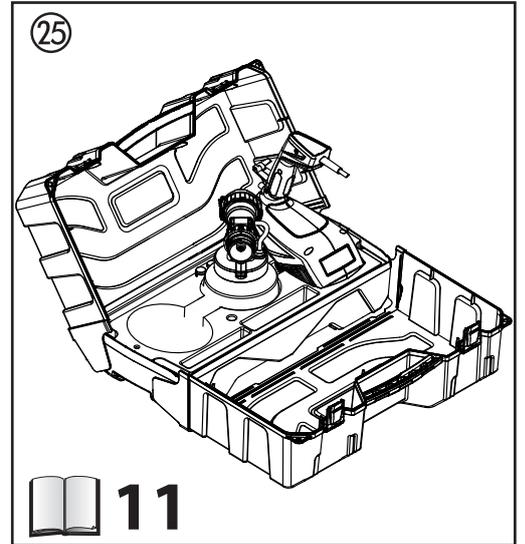
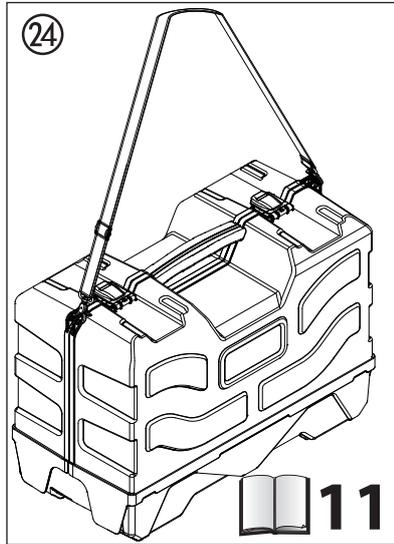
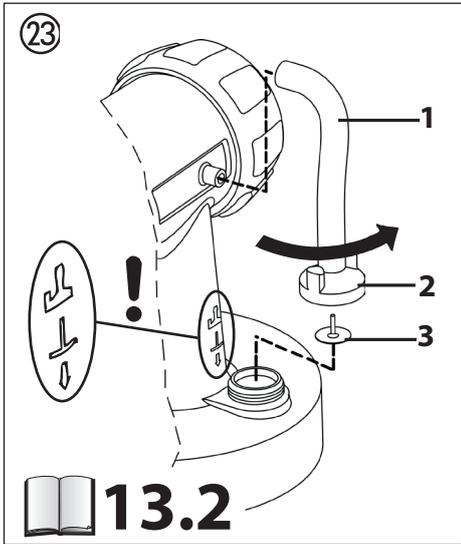
**WAGNER**





# FinishControl 3500

**WAGNER**



## 目次

1	安全規定	1	
2	説明図	4	
3	WAGNER クリック&ペイントシステム	4	
3.1	スプレーガンの分解	4	
4	技術データ	5	
5	XVLPテクノロジー について	5	
6	コーティング剤	5	
6.1	使用できるコーティング剤	5	
6.2	使用できないコーティング剤	5	
6.3	対応するスプレーアタッチメント(付属品)でのみ使用 できるコーティング剤	5	
6.4	コーティング剤の準備	5	
7	スプレーガンの調整	6	
7.1	スプレーパターンの調整	6	
7.2	吐出量の調整	6	
7.3	空気量の調整	6	
7.4	サクシオンチューブの調整	6	
8	使用開始	6	
9	塗装方法	7	
10	作業の中断	7	
11	運搬	7	
12	使用の停止とクリーニング	7	
12.1	組立	8	
13	メンテナンス	9	
13.1	エアフィルター	9	
13.2	空気弁	9	
14	トラブルシューティング	10	
15	付属品と交換部品	11	
15.1	付属品	11	
15.2	フレキシオ PROの交換部品	11	
15.3	スタンダードスプレーアタッチメントの交換部品	11	
15.4	ファインスプレーアタッチメントの交換部品	12	
機器の点検			13
廃棄に関する注意			13
製造物責任に関する重要事項			13
保証規定			13
保証書			13

## 記号の説明

	この記号は、使用者または機器に対する潜在的な危険性を示します。この記号の下には、怪我や機器の損傷を防ぐために重要な情報が記載されています。
	使用上のコツや、便利なヒントを示します。
	XX章参照
	スプレー幅=ワイド (広い)
	スプレー幅=ナロー (狭い)

## 1 安全規定

法律で定められている規則および安全要件のすべてに従う必要があります。

危険を回避するため、操作説明書を注意深く読み、記載されている指示に従ってください。

### 1. 作業環境の安全性

- a) 作業環境は、清潔に保ち、十分な照明を用意してください。整頓されていない場所、照明の不十分な場所での作業は、事故につながりかねません。
- b) 本機は、可燃性の液体や気体、塵のある、爆発の危険のある環境で使用しないでください。本機から出た火花によって、塵や気体が引火する可能性があります。
- c) 本機の使用中は、幼児など、作業員以外の人を近づけないでください。気を取られ、操作を誤る可能性があります。

### 2. 電気の安全性

- a) 本機の電源プラグがコンセントに合っていることを確認します。絶対にプラグを改造しないでください。適切なプラグとコンセントを使うことで、感電のリスクが最小限に抑えられます。
- b) 本機を雨や水で濡らさないでください。本機に水が入ると、感電のリスクが高まります。
- c) 電源ケーブルを、本機の運搬や吊り下げといった目的に使用したり、コンセントからプラグを抜くときに引っ張ったりしないでください。電源ケーブルを、熱やオイル、尖った物、可動部品の近くに置かないでください。電源ケーブルが破損したり絡まったりすると、感電のリスクが高まります。
- d) 本機を屋外で使用する場合は、必ず屋外での使用に適した延長ケーブルを使用してください。屋外での使用に適した延長ケーブルを使うことで、感電のリスクが抑えられます。
- e) 本機を湿気の多い環境で使用しなければならない場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用することで、感電のリスクが抑えられます。
- f) 本機、被塗物は必ずアースを取ってください。静電気が発生するとスパークを起し、火災・爆発・電気ショックの原因になります。

### 3. 人体の安全

- a) 自分が行っていることに集中し、十分な注意を払って本機を扱うようにしてください。疲れているとき、またはアルコール、薬の影響下にあるときは、本機を使用しないでください。本機の使用中は、一瞬の不注意が深刻な怪我につながりかねません。
- b) 個人用防護装備を着用し、必ず安全ゴーグルをはめてください。防塵マスクや滑り止めの付いた安全靴、安全ヘルメット、防音保護などの個人用防護装備を着用すると、怪我のリスクが抑えられます。
- c) 偶発的な作動を防止してください。指をスイッチに掛けた状態で本機を運搬したり、電源につないだりすると、事故につながる可能性があります。
- d) 作業場所から調整用工具やスパナ等を取り除いてください。本機の回転部品の近くに工具やスパナ等があると、怪我につながる可能性があります。
- e) 不自然な姿勢で作業をしないでください。不自然な姿勢でいると、予期しない状況が発生した場合に本機を適切にコントロールできません。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆるめの衣服や垂れ下がる装飾品を着用しないでください。髪、衣服、手袋を可動部に近づけないでください。ゆるい衣服や装飾品、長い髪は、可動部に巻き込まれる可能性があります。
- g) 本機は、操作説明書の理解ができない人（子どもを含む）や、経験または知識の不足している人による使用に適していません。ただし、監督する人が操作者の安全を確保する場合や、操作者に使用方法を指示する場合を除きます。子どもからは目を離さず、本機で遊ばないように注意してください。

### 4. 電源装置の取扱いと使用

- a) 電源に過度な負荷を与えないでください。本機に適した電源を使用してください。適切な電源を使えば、指定の出力範囲で確実に、効率よく作業できます。
- b) スイッチの故障した本機は使用しないでください。スイッチを入れたり切ったりできない本機は、危険なので修理が必要です。
- c) 本機の調整や付属品の交換を行うとき、または本機をしまうときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。このような安全対策を取ることで、本機の偶発的な事故が防止できます。
- d) 使用していない本機は、子どもの手の届かない場所に保管してください。本機の使用法に詳しくない人や、操作説明書を読んでいない人には、本機を使用させないでください。本機は、経験のない人が使用すると危険です。

## 安全規定

- e) 本機の手入れは、丁寧に行ってください。可動部品がスムーズに動作すること、部品が破損していないこと、部品に本機の機能に影響するような損傷がないことを確認してください。損傷がある部品を修理してから、本機の使用を再開します。事故の多くは不適切なメンテナンスに起因しています。
- f) 本機付属品、操作工具などは、その機種に規定されたものを、操作説明書に従って使用してください。その際、必要な作業と作業環境に注意を払ってください。規定されている以外の用途に電気部品を使用すると、危険な状況を招く可能性があります。

## 5. サービス

- a) 機器の修理は、必ず資格を持った専門技術者が純正交換部品を使って行うようにしてください。そうすることで、機器の安全性が保たれます。
- b) 本機の電源ケーブルが損傷した場合は、危険を回避するため、メーカーかその顧客サービス、または同様の資格を持つ販売店に交換を依頼してください。

 塗装機器の安全上の注意

## 1. 火災および爆発の危険

危険区域では、引火源による火災および爆発の危険があります。  
電気式スプレー自体にも引火源（スイッチの作動時やプラグの挿入/引き抜き時にモーターから出る火花、静電気によってスプレーガンから出る火花）があります。

-> 本機を、爆発防護の法令で規制される施設で使用しないでください。

-> 可燃性のコーティング剤や洗剤を使用しないでください！

-> 本機の近くにある塗料または溶剤の容器は、必ず蓋栓をしっかりと閉めてください。

-> 本機を溶剤で洗浄する前に、電源ケーブルを電源から外してください。作業を再開する時は、溶剤が本機から完全に拭き取られていることを確認してください。洗浄した部品は十分に乾かしてから取り付けてください。

## 2. 怪我の危険性があります！

スプレーガンを自分や他の人、動物に絶対に向けないでください。

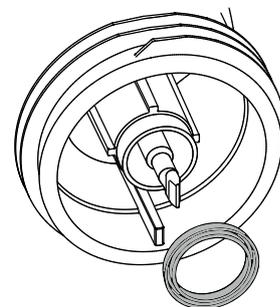
## 3. 塗装作業中は、保護マスクを着用してください。使用者に保護マスクを提供してください。

業務上疾患を予防するため、準備や作業、機械の洗浄を

行う際は、使用している塗料、溶剤、洗剤のメーカーの処理規定に従ってください。皮膚を保護するため、防護服や安全ゴーグル、手袋、場合によっては皮膚保護クリームが必要です。

- 4. 屋内、屋外に関わらず、作業場所内での溶剤蒸気の発生に注意してください。屋内で作業する時は作業場所が十分に換気されていることを確認してください。
- 5. 注意: 本機は、防水設計ではありません。雨の中での使用や、水を掛ける、液体に浸すなどの行為は、おやめください。湿った場所、濡れた場所で本機を使用しないでください。

- 6. 注意! ノズルシールが外れている、損傷している、もしくは間違っ取り付けられている状態で本機を使用しないでください。ノズルシールが外れている、損傷している、もしくは間違っ取り付けられていると、材料が装置に逆流し、電気ショックのリスクが高まります。毎作業前に必ずノズルシールを確認してください。



- 7. 本機は、チェックバルブセットが正常に機能する状態でのみ使用できません。塗料が通気ホース(図1の19)内を上がってきた場合は、本機の使用を中断してください! 通気ホース、チェックバルブキャップ、弁を取り外し、洗浄し、必要なら弁を交換してください。
- 8. 充填したスプレーガンは、横にして置かないでください。
- 9. 排気設備は、地域の規定に従って、使用者側で用意します。
- 10. コーティングする被塗物は必ずアースを取ってください。
- 11. スプレーされた塗料から生じる危険性に配慮し、容器に貼られているラベルや塗料のメーカーによる注意事項をよく読んでください。
- 12. 危険性を把握していない塗料は、使用しないでください。
- 13. スプレーアタッチメントを取り外す前に、容器を回して緩め、圧力を抜いてください。
- 14. 本機のメンテナンスをする場合、コンセントからプラグを必ず抜いてください。
- 15. 電気機器の処理または修理は、電気技術者だけが実行できます。操作説明書に注意事項が記載されている場

合でも、これらの作業は電気技術者に依頼してください。  
取り付けが不適切であった場合、保証対象外になります。

## 2 説明図(図1)

番号	名称	番号	名称
1	ノズル	15	容器
2	エアーキャップ	16	サクシオンチューブ
3	スプレー幅調整レバー	17	容器シール
4	スプレー方向調整リング(垂直/水平)	18	チェックバルブキャップと弁
5	ジョイントナット	19	通気ホース
6	スタンダードスプレーアタッチメント(イエロー) ファインスプレーアタッチメント(ブラウン)	20	洗浄ブラシ
7	吐出量コントローラ	21	サクシオンチューブファインフィルター(赤) サクシオンチューブフィルター(白)
8	ショルダーストラップ取付部	22	漏斗(3個)
9	エアーフィルターカバーロック	23	交換用エアーフィルター(3個)
10	エアフィルターカバー	24	ショルダーストラップ
11	空気量コントローラ	25	キャリーケース
12	電源ケーブル	26	電源ケーブル用ストラップ
13	クリック&ペイントストッパー		
14	トリガースイッチ(タービンの始動→ 塗料スプレー)		

## 3 WAGNER クリック&ペイントシステム

Wagner クリック&ペイントシステムでは、スプレーアタッチメントをすばやく簡単に交換できます。そのため、洗浄せずに塗料をすばやく替えることができ、塗料の種類に合ったツールで塗装ができます。

以下のスプレーアタッチメントを用意しています。

スプレーアタッチメント	適用範囲
ファインスプレー(ブラウン) 注文番号 2336 677	丸型ノズルと1000mlステンレス容器が付いたスプレーアタッチメント。 低粘度から中粘度の塗料に最適です。
スタンダードスプレー (イエロー) 注文番号 2336 676	スリットノズルと1000mlステンレス容器が付いたスプレーアタッチメント。 中粘度から高粘度までの塗料に対応しています。
ウォールスプレー(ホワイト) 注文番号 2336 678	スリットノズルと1400mlプラスチック容器が付いた内壁用塗料用スプレーアタッチメント。 水性の高粘度材料(内壁用塗料など)に適しています。

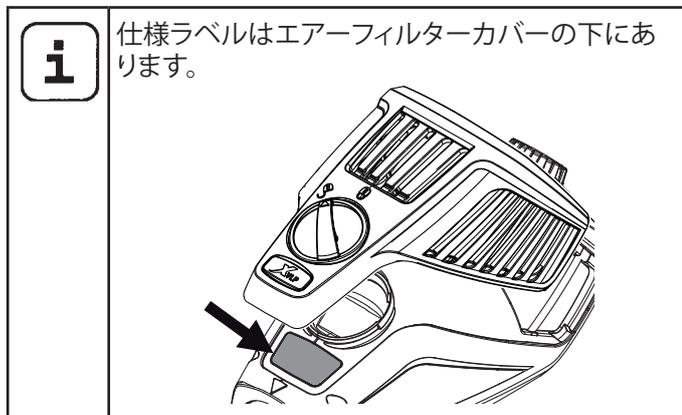
### 3.1 スプレーガンの取り外し

スプレーアタッチメントを、2つの矢印の先が重なるように、ガンハンドルに差し込みます。

スプレーアタッチメントを、矢印の方向にカチッと音がするまで90度回転させます。(図2)

スプレーアタッチメントを取り外すには、トリガーの下にあるストッパー(図2のA)を押し下げ、スプレーアタッチメントを90度反転させます。

## 4 技術データ



**i** 仕様ラベルはエアフィルターカバーの下にあります。

電圧:	100 V、50/60 Hz
消費電力:	560 W
霧化力:	175 W
容器の容量:	1000 ml
電源ケーブル:	4 m
保護クラス:	I
騒音レベル:*	74 dB (A)
重量(タービン部とスプレーアタッチメント含む):	2,3 kg

\* 測定方法は EN 50144-2-7:2000 に準拠

## 5 XVLPテクノロジーについて

XVLP (Extra Volume Low Pressure) は、多量の空気を使い、空気圧を抑えた低圧スプレー技術です。この技術の特長は、スプレーミストの発生量が少ない点です。そのため、マスキングの手間が最小限に抑えられます。従来のコーティング塗装に比べ、経済的で、塗装面の質が高く、同時に環境に優しい技術です。

### 機能内容

スプレーガン内で、この空気の一部を使い、容器が加圧されます。この圧力によってコーティング剤がサクシオンチューブを通してノズルへと運ばれ、残りの空気と共に噴霧されます。作業に必要な設定(吐出量など)は、スプレーガン本体で簡単に調整できます。

### 適用範囲

フレキシオ PRO は最大 50 m<sup>2</sup> までの小～中規模作業を目的として設計されています。

## 6 コーティング剤

### 6.1 使用できるコーティング剤

溶剤系仕上げ塗料と水性仕上げ塗料  
 ステン、防水塗料、クリアコート、合成樹脂塗料、カラーラッカー、アルキド樹脂、下塗り塗料、暖房機用塗料、ハンマートーン塗料、さび止め塗料、等

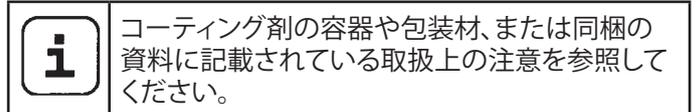
### 6.2 使用できないコーティング剤

強い研磨効果を持つ成分を含んだ塗料、砂状塗料、苛性ソーダ、酸性のコーティング剤  
 可燃性のコーティング剤  
 二液型塗料で可使時間の短い塗料

### 6.3 対応する付属品でのみ使用できるコーティング剤

内壁用塗料

### 6.4 コーティング剤の準備



**i** コーティング剤の容器や包装材、または同梱の資料に記載されている取扱上の注意を参照してください。

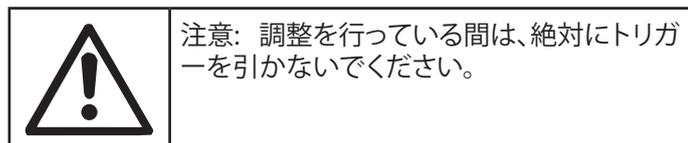
### コーティング剤の清浄度:

ファインスプレーシステムが正常に機能するためには、コーティング剤に混在物がないことが絶対的条件となります。混在物が混じっている可能性がある場合は、コーティング剤を細かいふるいにかけてからご使用ください。

## スプレーガンの調整/使用開始/ スプレーガンの調整

### 7 スプレーガンの調整

#### 7.1 スプレーパターンの調整



スプレーの向きを調整するには、黒色の調整リング(図3の1)を回転させます。

- A 水平方向のフラットスプレー → 縦長の塗装面に
- B 垂直方向のフラットスプレー → 横長の塗装面に

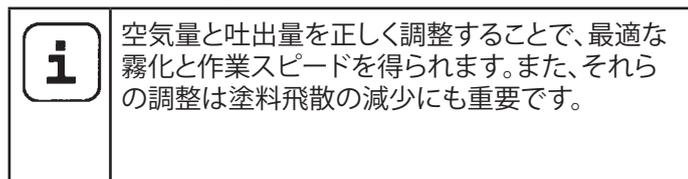
また、調整レバー(図4の1)を使って、スプレーの幅を広くしたり(▶)狭くしたり(◀)できます。

#### 7.2 吐出量の調整(図5)

吐出量は、吐出量コントローラ(図5の1)を回転させることで、1(最小)から12(最大)の間に設定できます。

#### 7.3 空気量の調整(図6)

空気量コントローラ(図6の1)を時計回りに回すと空気量が増え、反時計回りに回すと空気量が減ります(スプレーガン本体にある矢印を参照)。



#### 7.4 サクションチューブの調整

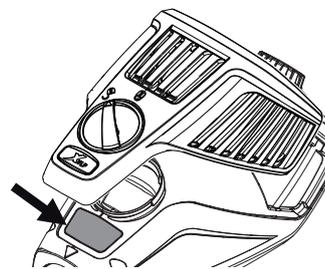
サクションチューブが正しい位置にあれば、効率よく塗料を使用することができます。

床と水平に置いた被塗物を塗装する場合:  
サクションチューブを前に回します。(図7A)

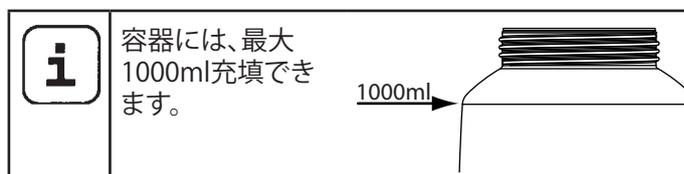
頭上の被塗物を塗装する場合:  
サクションチューブを後ろに回します。(図7B)

### 8 使用開始

電源に接続する前に、電圧が仕様ラベルに記載されている作動電圧と一致していることを確認してください。本機、被塗物は必ずアースを取ってください。静電気が発生するとスパークを起し、火災・爆発・電気ショックの原因になります。



1. スプレーアタッチメントから容器を外します。
2. 準備したコーティング剤を充填します。

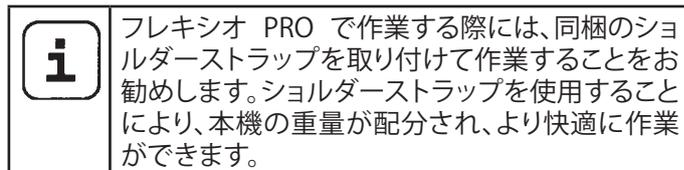


3. 使用するコーティング剤によって、適したフィルターをサククションチューブに取り付けます。(図9,1)

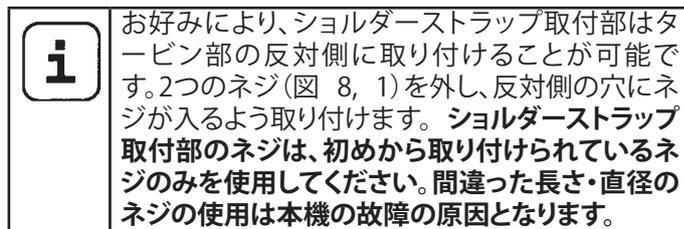
低粘度のコーティング剤 → ファインフィルター(赤)

中粘度以上のコーティング剤 → フィルター(白)

4. サクションチューブの位置を調整します。(図7)
5. 容器をスプレーアタッチメントに差し込み、締めます。
6. スプレーアタッチメントとタービン部を接続します。(図2)



7. ショルダーストラップ取付部がしっかり固定されていることを確かめショルダーストラップを取り付けます。(図8)



8. 電源ケーブルを差し込みます。
9. これで、作業が開始できる状態になりました。

## 9 塗装方法

<b>i</b>	フレキシオ PRO には、2段階式のトリガーが装備されています。第1段階まで引くと、タービンが起動します。トリガーをさらに深く引くと、エアと塗料が噴霧されます。
----------	--

スプレーガンのトリガーを引きます。

段ボールの上で噴霧を試し、スプレーパターン、スプレー幅、吐出量、空気量を調整します。

スプレーガンを垂直に持ち、塗装対象との間隔を3~20cmの間で均一に保ちます。(図10)

スプレーガンを、横に、または縦に、均一な速度で動かします。(7.1 スプレーパターンの調整参照) 均一に動かすことで、塗装面のムラが防げます。

塗装対象に当たらない場所で噴霧を開始します。また、塗装対象への噴霧中に中断しないようにしてください。

スプレーミストが大量に発生する場合は、空気量、吐出量、そして塗装対象への距離を修正してください。

## 10 作業の中断

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 長時間にわたり休憩する場合は、コンテナを軽く緩め、再び締め直し、コンテナを一度通気してください。
3. ノズル、エアキャップを洗浄します。

<b>i</b>	速乾性コーティング剤または2液型塗料を使用している場合は、必ず作業時間中に適切な洗浄剤を使って本機を洗浄してください。時間が経過すると、洗浄が大変になるだけでなく、損傷する可能性があります。
----------	---

## 11 運搬

	<b>注意!</b> キャリーケースに入れて持ち運ぶ時は、容器がしっかりと締まっていることを確認してください。容器に材料が入っている状態ではケースを傾けたり横にしないでください。
--	---

1. ショルダーストラップをタービン部から取り外しキャリーケースに取り付けます。(図 24)
2. フレキシオ PRO と付属品をケース内に入れ、ゴムで固定します。(図 25)

<b>i</b>	キャリーケースを完全に開く場合は、ケースの内側から左右に押し広げながら開きます。
----------	--

## 12 使用の停止とクリーニング

<b>i</b>	快適でスムーズな作業のためにも、フレキシオ PRO は毎使用後、しっかりと洗浄してください。
----------	--

1. スプレーガンを分解します。クリック(図 2, A)を軽く下に押し、スプレーアタッチメントをタービン部から回転させて外します。

	<b>注意!</b> スプレーガンのタービン部は、水や洗浄剤に浸さないでください。湿った布で汚れやほこりをふき取ってください。
--	---

2. 容器を回して外します。コーティング剤の残りを元の容器に移します。
3. 容器とサクシオンチューブを、適切な洗浄剤(溶剤または水)とブラシで洗浄します。通気口(図9, 2)を洗浄します。
4. 容器に適切な洗浄剤(溶剤または水)を充填し、容器を再び取り付けます。  
**可燃性の材料は洗浄目的で使用しないでください。**

	<b>本機を溶剤で洗浄する前に、電源ケーブルを電源から外してください。作業を再開する時は、溶剤が本機から完全に拭き取られていることを確認してください。洗浄した部品は十分に乾かしてから取り付けてください。</b>
--	---

## 運搬

## 使用の停止とクリーニング

5. スプレーアタッチメントとタービン部を接続します。(図2)
6. トリガーを引いて、洗浄剤を捨て吹きします。ノズルから透明な洗浄剤(溶剤または水)が出てくるまで、上記の手順を繰り返します。
7. 電源プラグを抜いてスプレーガンを分解します。
8. 容器を外し、残っている洗浄剤(溶剤または水)を洗浄用容器に捨てます。サクシオンチューブと容器シールを回して外します。(図11)
9. スプレーアタッチメントのサクシオンチューブと吸い上げノズルを洗浄ブラシで洗浄します。(図12)

	<p>注意: スプレーガンのシール、弁、ノズル口、通気口を洗浄する際、尖った金属製の道具は絶対に使わないでください。</p> <p>通気ホースと弁は、溶剤に対する耐性があまり高くありません。</p> <p>溶剤に浸さず、拭くだけにしてください。</p>
--	--

10. 調整リング(図13の1)を慎重にジョイントナット(2)から外します。ジョイントナット(2)を取り外し、エアーキャップ(3)、ノズル(4)、ノズルシール(5)を外します。すべての部品を丁寧に洗浄します。

	<p>ニードルの隙間を特に丁寧に洗浄してください。(図14)</p>
--	------------------------------------

11. 洗浄剤を浸した布で容器の外側を拭きます。
12. 部品を再び組み立てます。「組立」を参照)

## 12.1 組立

	<p>注意! 組立を行う際は、以下の手順に厳密に従ってください。そうしないと、スプレーアタッチメントが損傷する可能性があります。</p>
---	--

	<p>注意! ノズルシールが外れている、損傷している、もしくは間違っ取り付けられている状態で本機を使用しないでください。ノズルシールが外れている、損傷している、もしくは間違っ取り付けられていると、材料が装置に逆流し、電気ショックのリスクが高まります。毎作業前に必ずノズルシールを確認してください。</p>
---	--

1. ノズルシールを、切り込み(スリット)がスプレーアタッチメントの反対側に来るようにニードル部にはめます。(図15)
2. ノズルを、くぼみを下に向けてニードル部にはめます。スタンダードスプレーまたはウォールスプレーアタッチメントを使用している場合の注意: ニードルの位置がノズルの口に一致しなければなりません。(図16)
3. エアーキャップをノズルにはめます(エアーキャップの口に注意)。(図17)
4. ジョイントナットを取り付けます。(図18) ジョイントナットに調整リングをはめます。調整リングの両方のスリットがエアーキャップのフランジにはまること、スプレー幅の調整レバーがボルトの位置にあることを確認してください。(図19)
5. 容器シールを下からサクシオンチューブにはめ込み、フランジの上までスライドさせます。容器シールを軽く回すと、スムーズに動きます。
6. 容器シールの付いたサクシオンチューブをスプレーガン本体に差し込み、回します。

	<p>スプレーアタッチメントとタービン部の接続をスムーズにするために、必要であれば、スプレーアタッチメント同梱のグリースを塗布してください。(図20)。</p>
---	--

## 13 メンテナンス

### 13.1 エアフィルター



注意! 汚れたエアフィルターを使用したり、エアフィルターなしで本機を作動させないでください。汚れが吸い込まれ、機能に悪影響が及びます。  
作業を開始するたびに、エアフィルターを点検してください。

1. 電源プラグを抜きます。
2. エアフィルターカバーのロックを外し  (図 21) 取り外します。
3. 汚れの度合いに応じてエアフィルター (図22, 1) を洗淨する (汚れを空気で吹き飛ばす) か、交換します。
4. 新しいエアフィルターを左右の固定部 (図 22, 2) の下に押し込みます。(エアフィルターの形と向きに注意して下さい。)
5. エアフィルターカバーを再び取り付けロックします。 .

### 13.2 空気弁



塗料が通気ホースに浸入した場合は、次の手順に従ってください。

1. 通気ホース (図23, 1) をスプレーガンの上から引き抜きます。チェックバルブキャップ (2) を外します。弁 (3) を外します。すべての部品を丁寧に洗淨します。



注意: 通気ホースと弁は、溶剤に対する耐性があまり高くありません。  
溶剤に浸さず、拭くだけにしてください。

2. 弁を、ピンの付いた面を上側に向けてチェックバルブキャップにはめます。(スプレーガン本体にあるマークを参照してください。)
3. スプレーガン本体を逆さにし、チェックバルブキャップを下から取り付けます。
4. 通気ホースを、チェックバルブキャップ、そしてスプレーガン本体の突起に差し込みます。

## 14 トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決策
本機が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検します</li> </ul>
ノズルから塗料が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズルが詰まっている</li> <li>設定された吐出量が少なすぎる</li> <li>容器シールに損傷がある</li> <li>容器内が加圧されていない</li> <li>容器に塗料が入っていない</li> <li>通気ホースが緩んでいる/損傷している</li> <li>サクシオンチューブが緩んでいる</li> <li>サクシオンチューブ/サクシオンチューブフィルターが詰まっている</li> <li>サクシオンチューブの通気口が詰まっている</li> <li>弁が詰まっている</li> <li>弁が上下反対に取り付けられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄します</li> <li>量を増やします</li> <li>交換します</li> <li>容器をしっかりと締めるか、容器シールを交換します</li> <li>充填します</li> <li>差し込むか、交換します</li> <li>差し込みます</li> <li>洗浄するか、別のフィルターを使用します</li> <li>洗浄します</li> <li>取り外して洗浄します (13.2を参照)</li> <li>正しい方向で取り付けます (13.2を参照)</li> </ul>
本機を止めてもノズルから塗料が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアーキャップ、ノズル、ニードルが汚れている</li> <li>スプレーアタッチメントの組立が正しくない</li> <li>ノズルが緩んでいる</li> <li>ノズルシールが外れている/摩耗している</li> <li>ノズルが磨耗している</li> <li>ニードルが磨耗している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄します</li> <li>組立をやり直します (12.1を参照)</li> <li>ジョイントナットを締めます</li> <li>ノズルシールを正しく取り付けるか、交換します</li> <li>交換します</li> <li>新しいスプレーアタッチメントを使用します</li> </ul>
噴霧が粗い	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐出量が多すぎる</li> <li>ノズルが汚れている</li> <li>コーティング剤の粘度が高すぎる</li> <li>容器内の圧力が低すぎる</li> <li>エアフィルターの汚れがひどい</li> <li>空気量が少なすぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>量を減らします</li> <li>洗浄します</li> <li>薄めます</li> <li>容器をしっかりと締めます</li> <li>交換します (13.1を参照)</li> <li>量を増やします</li> </ul>
噴霧にムラがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>容器内のコーティング剤が少ない</li> <li>ノズルシールが外れている/摩耗している</li> <li>エアフィルターの汚れがひどい</li> <li>サクシオンチューブが緩んでいる</li> <li>サクシオンチューブ/サクシオンチューブフィルターが詰まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補充します</li> <li>ノズルシールを正しく取り付けるか、交換します</li> <li>交換します</li> <li>差し込みます</li> <li>洗浄するか、別のフィルターを使用します</li> </ul>
塗料が流れる(垂れる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーティング剤の吐出量が多すぎる</li> <li>距離が近すぎる</li> <li>使用しているスプレーアタッチメントが適切でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>量を減らします</li> <li>吹き付け距離を長くします</li> <li>別のスプレーアタッチメントを使用します</li> </ul>
塗料飛散が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗装対象との距離が長すぎる</li> <li>吐出量が多すぎる</li> <li>空気量が多すぎる</li> <li>コーティング剤を薄めすぎた</li> <li>使用しているスプレーアタッチメントが適切でない</li> <li>塗装方法が間違っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹き付け距離を短くする</li> <li>量を減らします</li> <li>量を減らします</li> <li>薄め液を少なくする</li> <li>別のスプレーアタッチメントを使用します</li> <li>正しい塗装方法について確認する (9を参照)</li> </ul>

トラブル	考えられる原因	解決策
通気ホースに塗料が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>•弁が汚れている</li> <li>•弁が破損している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•弁を洗浄します (13.2を参照)</li> <li>•弁を交換します (13.2を参照)</li> </ul>

## 15 付属品と交換部品

### 15.1 付属品

番号	注文番号	名称
1	2336 676	スタンダードスプレーアタッチメント(イエロー) (1000ml容器つき) 一般的な塗料すべてに適しています。
2	2336 677	ファインスプレーアタッチメント(ブラウン) (1000ml容器付き) 低粘度の塗料に最適で、より良い仕上げ感を提供します。
3	2336 678	ウォールスプレーアタッチメント(1400ml容器付き) 内壁用塗料用。
4	2324 749	蓋付き容器(1400ml)

### 15.2 フレキシオ PRO (図26) の交換部品

番号	注文番号	名称
1	2343 946	エアフィルターカバー
2	2343 947	エアフィルター(3個)
3	2343 948	ショルダーストラップ固定部(ねじ含む)
4	2341 187	ショルダーストラップ
5	0514 209	洗浄ブラシ
6	2324 745	漏斗(3個)
7	2344 041	電源ケーブル用ストラップ
8	2341 100	キャリアケース
9	2365 230	スプレーガン タービン部 (1,2,3 含む)

### 15.3 スタンダードスプレーアタッチメント(イエロー) (図27) の交換部品

番号	注文番号	名称
1	2336 676	スタンダードスプレーアタッチメント(イエロー) (1000ml容器つき)
2	2314 594	調整レバー
3	2314 591	スプレー調整リング
4	2332 577	ジョイントナット(イエロー)
5	2317 807	エアーキャップ
6	2314 585	エアーブラインド
7	2317 423	ノズル(S 4.1)
8	2323 934	ノズルシール

## 交換部品

番号	注文番号	名称
9	2304 027	チェックバルブセット(通気ホース、チェックバルブキャップ、弁)
10	0417 308	スプレーアタッチメントOリング
11	2324 250	スプレーガン本体(8~10を含む)
12	2319 223	容器シール
13	2319 222	サクシヨンチューブ
14	2324 248	サクシヨンチューブファインフィルター(赤、5個セット)
	2324 249	サクシヨンチューブフィルター(白、5個)
15	2322 451	蓋付き容器(1000ml)
	2315 539	グリース

## 15.4 ファインスプレーアタッチメント(ブラウン)(図27)の交換部品

番号	注文番号	名称
1	2336 677	ファインスプレーアタッチメント(ブラウン)一式、1000ml容器付き
2	2321 868	調整レバー
3	2314 591	スプレー調整リング
4	2332 579	ジョイントナット(茶色)
5	2317 820	エアーキャップ
6	2314 585	エアーブラインド
7	2317 667	ノズル(R 1.8)
8	2323 934	ノズルシール
9	2304 027	チェックバルブセット(通気ホース、チェックバルブキャップ、弁)
10	0417 308	スプレーアタッチメントOリング
11	2326 126	スプレーガン本体(8~10を含む)
12	2319 223	容器シール
13	2319 222	サクシヨンチューブ
14	2324 248	サクシヨンチューブファインフィルター(赤、5個セット)
	2324 249	サクシヨンチューブフィルター(白、5個)
15	2322 451	蓋付き容器(1000ml)
	2315 539	グリース



## 機器の点検

安全上の理由から、必要に応じた頻度で、ただし少なくとも12か月おきに、専門家に本機の点検を依頼し、引き続き正常に動作することを確認してください。

機器を使用していない場合は、点検を次の使用開始時まで延期することができます。

さらに、その国の(異なる可能性がある)点検規定およびメンテナンス規定にも従ってください。

点検、メンテナンスに関して不明な点がある場合は、WAGNERのサービスまでご連絡ください。



## 廃棄に関する注意

本機の廃棄、およびコーティング剤、洗浄剤の廃棄に関しては、国・地方自治体の消防・電気・安全関連の法規定に従ってください。

## 製造物責任に関する重要事項

1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局(同業組合および営業監督庁)によって機器全体の使用が禁止されることもあります。WAGNER製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

## 保証規定

日本ワグナー・スプレーテック株式会社(以下「日本ワグナー」)は、本製品の材質上および製造上の欠陥により、正常な使用状態および使用後の完全な洗浄状態にもかかわらず、故障が生じた場合は、以下の保証規定に従い保証いたします。

1. 保証書に記載している保証期間内に、お客様に次の手続きをとっていただくことを条件として、無償で故障品を修理いたします。

(1) お買い上げの販売店に、お買い上げを証明する書面(レシート、納品書等)と保証書を提示すること

(2) 故障品を、保証書とともに販売店が指定する宛先に返送すること

2. 本保証は、日本ワグナーが不具合の原因が次の場合であると判断したときには適用されませんのでご了承ください。

(1) 取扱説明書に記載の使用法、注意事項に従わない使用がなされた場合

(2) 日本ワグナーまたは日本ワグナーが認めたサービス代理店以外の第三者により不当な修理、調整、改造がなされた場合

(3) 消耗部品の摩耗による故障、および消耗部品の交換

(4) 不十分な洗浄およびメンテナンスによる故障、損傷

(5) お客様による輸送、移動時の落下、転倒、衝撃等による故障、損傷

(6) 地震、火災、落雷、洪水等の自然災害、その他の外部要因によって生じた故障、損傷

## 保証書

<b>WAGNER</b>		保証期間 <b>1</b> 年間	
機種	フレキシオ PRO (FC 3500)	本体No.	
フリガナ			
貴(社)名			
ご住所			
お電話		納品書No.	
※販売店	店名・住所・電話		
※販売店の印鑑がない場合は、購入時の納品書を貼り付けてください。			

日本ワグナー・スプレーテック 株式会社  
〒574-0057 大阪府大東市  
新田西町2-35

TEL: 072-874-3561 (代表)

FAX: 072-874-3426

電子メール: [marketing@wagner-japan.co.jp](mailto:marketing@wagner-japan.co.jp)